

## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 ヤギ

上場取引所

東

コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 八木 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山岡 一朗

TEL 06-6266-7302

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	86,422	11.5	1,943	72.6	1,952	43.9	1,013	176.6
2022年3月期	77,524		1,126		1,357		366	

(注) 包括利益 2023年3月期 1,552百万円 (2,035.0%) 2022年3月期 72百万円 (96.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	121.84		2.9	2.8	2.2
2022年3月期	44.07		1.0	2.0	1.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 445百万円 2022年3月期 153百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	73,027	36,276	49.7	4,373.24
2022年3月期	64,702	35,149	53.7	4,170.60

(参考) 自己資本 2023年3月期 36,276百万円 2022年3月期 34,724百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,087	1,061	3,755	10,901
2022年3月期	3,018	1,373	2,140	6,733

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		40.00	40.00	333	90.8	0.9
2023年3月期		0.00		48.00	48.00	398	39.4	1.1
2024年3月期(予想)		0.00		48.00	48.00		26.5	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	0.0	2,200	13.2	2,400	22.9	1,500	48.0	180.83

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	9,140,000 株	2022年3月期	9,200,000 株
期末自己株式数	2023年3月期	844,872 株	2022年3月期	873,865 株
期中平均株式数	2023年3月期	8,320,903 株	2022年3月期	8,318,689 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	67,487	8.3	256	111.6	530	7.1	116	
2022年3月期	62,303		121		495		234	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	14.03	
2022年3月期	28.15	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	65,395	27,275	41.7	3,288.09
2022年3月期	59,593	27,760	46.6	3,334.11

(参考) 自己資本 2023年3月期 27,275百万円 2022年3月期 27,760百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. 個別財務諸表 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22
5. その他 .....	24
(1) 役員の異動 .....	24
(2) その他 .....	24

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の度重なる拡大の影響を受けながらも、行動制限が緩和されたことにより経済活動は正常化に向かいました。しかし、エネルギー価格の上昇とそれに伴う原材料価格や物流価格の高騰、世界的な金融引締めによる急速な円安の進行、そしてロシアによるウクライナ侵攻の長期化による世界的な景気後退懸念に物価の上昇と人手不足による人件費の高騰などが加わり先行き不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような厳しい環境のもと、3ヵ年の中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」の最終年度を迎え、4つの重点方針である「経営体制の高度化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「次世代事業の創出」、「サステナビリティの着実な実行」の総仕上げに向け、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み深耕、ブランドビジネスの推進に尽力し、なかでもサステナビリティに関しては、YAGIthical(ヤギシカル)と名付けたエシカル活動を積極的に行うとともに市場で需要が高まっている環境配慮型商材の開発、ブランディング、販売活動をグループ全体で展開して参りました。

この結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は86,422百万円(前期比11.5%増)、営業利益は1,943百万円(前期比72.6%増)、経常利益は1,952百万円(前期比43.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,013百万円(前期比176.6%増)となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ①マテリアル事業

合成繊維販売は、原料価格や電気料金が値上がりし、生産・加工スペースの確保に加え、川下への価格転嫁に苦戦しました。しかし自社加工系に関してはユーザーとの取り組みが深耕することで堅調に推移し、またインテリア向け原料、高付加価値原料販売も比較的安定した動きとなりました。天然繊維販売は、綿糸価格の高騰が続いておりましたが後半は相場が下落に転じたため商況が鈍化し非常に苦戦を強いられました。オーガニック系に関してはレギュラー糸との価格差が益々開き、需要が懸念されましたが比較的安定した動きとなりました。

この結果、売上高は32,958百万円(前期比19.8%増)、セグメント利益は336百万円(前期比32.8%減)となりました。

#### ②アパレル事業

原料価格の上昇、燃料費の高騰と世界的なコンテナ不足に伴う物流経費の上昇、円安基調といった生産面における“三重苦”に加え、前半は中国やベトナムでのロックダウンによるコロナ対策の影響で苦戦が続きましたが、徐々にコロナ禍の影響が収まり後半はファッションにおいても消費意欲は回復基調となりました。逆に巣ごもり需要により比較的健闘していた通販向けビジネスに反動が見られました。なお、種々要因によるコスト上昇に加え、一部で人手不足による人件費アップのために、川下段階では商品上代を上げる風潮にあり、当事業が関わる川上、川中段階もその影響で売上が回復基調となりました。

この結果、売上高は36,867百万円(前期比4.7%増)、セグメント利益は1,803百万円(前期比90.2%増)となりました。

#### ③ブランド・ライフスタイル事業

ブランド品を扱う事業では、主力のダウンジャケットがシーズン前から実需期にわたり好調に推移しました。他の商品アイテムについては、前半は苦戦しましたが年明けからインバウンド需要が徐々に増えたことで回復基調となりました。寝装資材やダストコントロール商材を扱うライフスタイル事業では、高い衛生対策ニーズに対応した商品を迅速に供給できたことにより、好調に推移しました。

この結果、売上高は18,543百万円(前期比14.5%増)、セグメント利益は1,344百万円(前期比69.6%増)となりました。

#### ④不動産事業

賃貸事業において新型コロナウイルス感染症の影響から一定の回復が見られ、売上高は778百万円(前期比12.9%増)、セグメント利益は450百万円(前期比18.2%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

a. 当連結会計年度の財政状態の分析

(a) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7,242百万円増加し、56,452百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したことが主な要因であります。

(b) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,082百万円増加し、16,574百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

(c) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5,477百万円増加し、27,993百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が増加したことが主な要因であります。

(d) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,720百万円増加し、8,756百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

(e) 純資産

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,127百万円増加し、36,276百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益が1,013百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入れによる収入等により、前連結会計年度末に比べ、4,167百万円（61.9%）増加し、当連結会計年度末には10,901百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動により資金は1,087百万円増加しました。これは主に税金等調整前当期純利益の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動により資金は1,061百万円減少しました。これは主に関係会社株式の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動により資金は3,755百万円増加しました。これは主に長期借入れによる収入によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの属する繊維・ファッション業界は、急激な少子高齢化、消費マインドの多様化、DX推進による事業構造の効率化や、SDGs達成へ向けた社会的価値への対応といった様々な舵取りに直面しております。さらに、ポストコロナやウクライナ侵攻等による世界経済環境の変化に見られるように、従来の価値観が覆されるような状況に対して、攻めと守りのバランスを取りつつスピード感を伴った経営が重要であると考えております。

このような状況の下、当社グループは、2026年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画「Heritage to the future」に基づき、持続的成長の基盤づくりに注力し、「事業」「グローバル」「グループ経営」「人材」「ESG」の5つを基本戦略として取り組んでまいります。

基本戦略の概要は次のとおりです。

a. 事業戦略

- (a) セグメントグループでの収益力強化
- (b) ポートフォリオでの選択と集中

b. グローバル戦略

- (a) サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開

c. グループ経営戦略

- (a) グループマネジメントの進化
- (b) グループ内のDX基盤の構築

d. 人材戦略

- (a) グループ人材や組織制度の連携強化
- (b) 人材活性化環境の整備

e. ESG戦略

- (a) CSV経営の実践
- (b) コーポレートガバナンスの強化

今後におきましても、1893年の創業以来、固く守り抜いてきた社是「終始一誠意」を規範とし、当社グループ一丸となって経営の効率性向上を進め、新しい価値を創造できるリーディングカンパニーを目指し努力を重ねてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

これらにより、2024年3月期の当社グループの通期の業績予想につきましては、売上高は87,000百万円、営業利益は2,200百万円、経常利益は2,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,500百万円となる見込みであります。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき48円とさせていただきます。また、次期の期末配当金につきましては、1株につき48円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

日本の会計基準は、国際的な会計基準とのコンバージェンスの結果、高品質かつ国際的に遜色のないものとなっており、欧州では国際会計基準と同等との評価を受けていることから、当社グループの会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,809,611	10,979,744
受取手形及び売掛金	22,129,551	23,534,040
電子記録債権	7,705,621	9,566,551
棚卸資産	9,029,701	10,414,597
その他	3,582,193	2,298,937
貸倒引当金	△46,108	△340,994
流動資産合計	49,210,571	56,452,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,840,204	3,038,009
土地	1,397,215	1,365,211
その他(純額)	276,481	494,777
有形固定資産合計	4,513,901	4,897,998
無形固定資産		
のれん	301,326	180,796
電話加入権	5,965	5,965
ソフトウェア	836,560	643,277
ソフトウェア仮勘定	—	1,994
その他	10,794	9,309
無形固定資産合計	1,154,647	841,342
投資その他の資産		
投資有価証券	6,058,801	7,384,905
長期貸付金	1,483,052	803,990
繰延税金資産	368,645	737,842
退職給付に係る資産	1,164,082	1,545,735
その他	1,753,660	1,827,715
貸倒引当金	△1,005,215	△1,465,290
投資その他の資産合計	9,823,025	10,834,900
固定資産合計	15,491,574	16,574,241
資産合計	64,702,146	73,027,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,136,911	10,628,625
電子記録債務	1,939,881	2,148,008
短期借入金	4,490,000	4,433,176
1年内返済予定の長期借入金	300,000	3,200,000
未払金	4,086,603	4,540,801
未払法人税等	109,812	1,195,314
賞与引当金	526,316	559,305
役員賞与引当金	48,300	57,587
返金負債	35,062	34,800
その他	843,614	1,196,339
流動負債合計	22,516,501	27,993,959
固定負債		
長期借入金	4,613,469	6,400,000
繰延税金負債	134,680	89,480
役員退職慰労引当金	56,635	11,317
退職給付に係る負債	1,109,745	1,081,214
資産除去債務	112,160	112,160
その他	1,009,491	1,062,382
固定負債合計	7,036,183	8,756,556
負債合計	29,552,685	36,750,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	71,113	34,473
利益剰余金	33,248,987	34,224,834
自己株式	△727,993	△719,972
株主資本合計	33,680,107	34,627,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472,228	2,001,153
繰延ヘッジ損益	214,351	△272,695
為替換算調整勘定	2,038	159,864
退職給付に係る調整累計額	△643,735	△239,054
その他の包括利益累計額合計	1,044,883	1,649,267
非支配株主持分	424,470	—
純資産合計	35,149,460	36,276,603
負債純資産合計	64,702,146	73,027,118



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	77,524,179	86,422,205
売上原価	60,498,071	66,595,876
売上総利益	17,026,107	19,826,329
販売費及び一般管理費	15,900,049	17,882,704
営業利益	1,126,057	1,943,624
営業外収益		
受取利息	17,298	12,444
受取配当金	205,221	186,717
為替差益	13,890	151,608
受取補償金	215,586	—
その他	223,534	190,779
営業外収益合計	675,531	541,550
営業外費用		
支払利息	48,138	40,212
貸倒引当金繰入額	174,260	—
持分法による投資損失	153,717	445,761
その他	68,216	46,626
営業外費用合計	444,334	532,600
経常利益	1,357,254	1,952,573
特別利益		
投資有価証券売却益	324,838	—
関係会社株式売却益	348,627	—
固定資産売却益	—	22,702
債務免除益	—	13,469
貸倒引当金戻入額	—	236,555
特別利益合計	673,466	272,727
特別損失		
減損損失	201,628	53,614
投資有価証券評価損	256,923	—
関係会社株式評価損	149,949	—
貸倒引当金繰入額	410,068	—
関係会社株式売却損	—	156,676
抱合せ株式消滅差損	—	342,922
特別損失合計	1,018,570	553,213
税金等調整前当期純利益	1,012,150	1,672,087
法人税、住民税及び事業税	260,481	1,329,897
法人税等調整額	398,031	△602,783
法人税等合計	658,512	727,113
当期純利益	353,637	944,974
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△12,931	△68,826
親会社株主に帰属する当期純利益	366,568	1,013,800

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	353,637	944,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△466,493	525,009
繰延ヘッジ損益	2,132	△487,046
為替換算調整勘定	14,098	105,908
退職給付に係る調整額	142,336	404,680
持分法適用会社に対する持分相当額	26,992	58,697
その他の包括利益合計	△280,933	607,249
包括利益	72,703	1,552,224
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	84,942	1,620,410
非支配株主に係る包括利益	△12,238	△68,186

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,088,000	955,809	34,363,934	△1,887,797	34,519,946
会計方針の変更による累積的影響額			△55,915		△55,915
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,088,000	955,809	34,308,019	△1,887,797	34,464,031
当期変動額					
剰余金の配当			△398,492		△398,492
親会社株主に帰属する当期純利益			366,568		366,568
自己株式の処分		16,599		20,160	36,759
自己株式の消却		△892,922	△246,721	1,139,644	—
連結範囲の変動			△525,077		△525,077
持分法の適用範囲の変動			△255,308		△255,308
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△8,373			△8,373
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△884,696	△1,059,032	1,159,804	△783,924
当期末残高	1,088,000	71,113	33,248,987	△727,993	33,680,107

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,930,902	212,218	△27,871	△786,037	1,329,212	399,408	36,248,567
会計方針の変更による累積的影響額					—		△55,915
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,930,902	212,218	△27,871	△786,037	1,329,212	399,408	36,192,651
当期変動額							
剰余金の配当					—		△398,492
親会社株主に帰属する当期純利益					—		366,568
自己株式の処分					—		36,759
自己株式の消却					—		—
連結範囲の変動					—		△525,077
持分法の適用範囲の変動					—		△255,308
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—		△8,373
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△458,673	2,132	29,910	142,301	△284,328	25,062	△259,266
当期変動額合計	△458,673	2,132	29,910	142,301	△284,328	25,062	△1,043,190
当期末残高	1,472,228	214,351	2,038	△643,735	1,044,883	424,470	35,149,460

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,088,000	71,113	33,248,987	△727,993	33,680,107
当期変動額					
剰余金の配当			△333,045		△333,045
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,013,800		1,013,800
自己株式の取得				△67,267	△67,267
自己株式の処分				24,159	24,159
自己株式の消却		△16,599	△21,656	51,129	12,873
連結範囲の変動		8,373	354,866		363,240
持分法の適用範囲の変 動			△2,644		△2,644
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△28,414	△46,741		△75,155
その他			11,268		11,268
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△36,639	975,847	8,021	947,228
当期末残高	1,088,000	34,473	34,224,834	△719,972	34,627,335

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,472,228	214,351	2,038	△643,735	1,044,883	424,470	35,149,460
当期変動額							
剰余金の配当					—		△333,045
親会社株主に帰属する 当期純利益					—		1,013,800
自己株式の取得					—		△67,267
自己株式の処分					—		24,159
自己株式の消却					—		12,873
連結範囲の変動			△2,933		△2,933		360,306
持分法の適用範囲の変 動					—		△2,644
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					—		△75,155
その他					—		11,268
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	528,924	△487,046	160,759	404,680	607,317	△424,470	182,847
当期変動額合計	528,924	△487,046	157,825	404,680	604,384	△424,470	1,127,142
当期末残高	2,001,153	△272,695	159,864	△239,054	1,649,267	—	36,276,603

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,012,150	1,672,087
減価償却費	571,800	566,605
減損損失	201,628	53,614
のれん償却額	120,530	120,530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	368,961	857,365
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,612	26,706
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,246	9,287
返金負債の増減額 (△は減少)	35,062	△262
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△188,696	△46,115
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,067	△36,295
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	102,189	△381,653
受取利息及び受取配当金	△222,520	△199,162
支払利息	48,138	40,212
持分法による投資損益 (△は益)	153,717	445,761
固定資産売却損益 (△は益)	14,186	△22,702
投資有価証券評価損益 (△は益)	256,923	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△324,838	—
関係会社株式評価損	149,949	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△348,627	156,676
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	342,922
売上債権の増減額 (△は増加)	3,203,745	△2,975,890
固定化債権の増減額 (△は増加)	△615,214	△331,976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△813,062	△1,401,943
未収入金の増減額 (△は増加)	△232,986	△152,785
前渡金の増減額 (△は増加)	164,223	329,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	821,007	615,972
未払金の増減額 (△は減少)	△248,005	430,522
未払又は未収消費税等の増減額	△733,613	206,960
その他	709,986	412,054
小計	4,269,070	737,938
利息及び配当金の受取額	215,288	210,283
利息の支払額	△45,398	△42,862
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,420,300	181,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,018,659	1,087,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△43,073	△103,279
定期預金の払戻による収入	40,061	101,029
有価証券の取得による支出	—	△58,500
有価証券の償還による収入	—	78,000
有形固定資産の取得による支出	△170,688	△311,737
有形固定資産の売却による収入	655	84,246
無形固定資産の取得による支出	△116,701	△48,538
投資有価証券の取得による支出	△353,871	△13,212
投資有価証券の売却による収入	427,734	231
関係会社株式の取得による支出	△811,958	△953,820
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	△5,781	△32,023
出資金の払込による支出	△5,000	—
出資金の回収による収入	—	136
貸付けによる支出	△423,610	△115,572
貸付金の回収による収入	93,889	241,449
その他	△5,488	69,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,373,832	△1,061,740
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,613,503	△177,793
長期借入れによる収入	—	11,400,000
長期借入金の返済による支出	△119,814	△6,700,000
非支配株主への払戻による支出	—	△430,000
配当金の支払額	△394,577	△333,045
非支配株主への配当金の支払額	△10,406	△731
その他	△2,451	△2,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,140,753	3,755,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,162	34,532
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△476,764	3,815,463
現金及び現金同等物の期首残高	7,150,657	6,733,505
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	59,611	343,304
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の 増加額	—	9,115
現金及び現金同等物の期末残高	6,733,505	10,901,389

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「未払又は未収消費税等の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△23,626千円は、「未払又は未収消費税等の増減額」△733,613千円、「その他」709,986千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

最近2連結会計年度のセグメント情報は、次のとおりであります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものを基本としております。

当社グループは、「マテリアル事業」、「アパレル事業」、「ブランド・ライフスタイル事業」、「不動産事業」を営んでおります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

報告セグメントに属する主要な製品、サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品サービス
マテリアル事業	原料（糸）及びテキスタイルの製造販売
アパレル事業	繊維二次製品のOEM/ODM事業
ブランド・ライフスタイル事業	自社ブランドの卸・小売、生活資材・寝装品・生活雑貨の製造販売
不動産事業	不動産賃貸事業

2. 報告セグメントのごとの売上高、利益または損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。



3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	26,857,090	34,120,638	16,088,042	—	77,066,136	—	77,066,136
その他の収益	—	—	—	458,042	458,042	—	458,042
外部顧客への売上高	26,857,090	34,120,638	16,088,042	458,407	77,524,179	—	77,524,179
セグメント間の内部 売上高または振替高	665,623	1,077,087	105,085	231,171	2,078,968	△2,078,968	—
計	27,522,713	35,197,725	16,193,128	689,579	79,603,147	△2,078,968	77,524,179
セグメント 利益	500,801	948,068	792,903	381,033	2,622,807	△1,265,553	1,357,254
セグメント資産	17,491,189	21,879,207	13,853,522	3,329,085	56,553,005	8,149,141	64,702,146
その他の項目							
減価償却費	39,068	—	171,847	161,891	372,806	198,993	571,800
のれん償却額	—	—	120,530	—	120,530	—	120,530
持分法投資利益 または損失(△)	—	93,158	△246,875	—	△153,717	—	△153,717
持分法適用会社への 投資額	—	344,032	549,196	—	893,229	—	893,229
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	16,988	—	118,333	20,294	155,616	123,878	279,495

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額8,149,141千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産及びセグメント間取引消去が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額198,993千円は、主に本社管理部門に係る資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額123,878千円は、主に本社管理部門に係る資産の増加額であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	31,913,725	35,496,174	18,464,489	—	85,874,389	—	85,874,389
その他の収益	—	—	—	547,815	547,815	—	547,815
外部顧客への売上高	31,913,725	35,496,174	18,464,489	547,815	86,422,205	—	86,422,205
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,044,901	1,371,631	79,407	230,953	2,726,894	△2,726,894	—
計	32,958,627	36,867,806	18,543,896	778,769	89,149,099	△2,726,894	86,422,205
セグメント 利益	336,291	1,803,589	1,344,848	450,303	3,935,032	△1,982,458	1,952,573
セグメント資産	18,291,587	24,203,678	13,943,607	3,660,843	60,099,716	12,943,417	73,043,134
その他の項目							
減価償却費	36,834	—	174,649	64,662	276,145	290,459	566,605
のれん償却額	—	—	120,530	—	120,530	—	120,530
持分法投資利益 または損失(△)	△96,876	85,322	△434,207	—	△445,761	—	△445,761
持分法適用会社への 投資額	330,096	427,821	697,297	—	1,455,215	—	1,455,215
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	32,529	—	193,210	48,269	274,008	86,267	360,276

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額12,943,417千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産及びセグメント間取引消去が含まれております。
  - (3) 減価償却費の調整額290,459千円は、主に本社管理部門に係る資産の減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額86,267千円は、主に本社管理部門に係る資産の増加額であります。
2. 報告セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、連結損益計算書の経常利益と一致しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	201,628	—	—	201,628

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	53,614	—	—	53,614

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	マテリアル事業	アパレル事業	ブランド・ライ フスタイル事業	不動産事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	120,530	—	—	120,530
当期末残高	—	—	301,326	—	—	301,326

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	マテリアル事業	アパレル事業	ブランド・ライ フスタイル事業	不動産事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	120,530	—	—	120,530
当期末残高	—	—	180,796	—	—	180,796

【報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	4,170円60銭	1株当たり純資産額	4,373円24銭
1株当たり当期純利益	44円07銭	1株当たり当期純利益	121円84銭
<p>なお、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、連結子会社であるTATRAS INTERNATIONAL株式会社が新株予約権を発行しており、潜在株式が存在するものの、非上場で期中平均株価が把握できないため、記載していません。</p>		<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載していません。</p>	

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	366,568	1,013,800
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	366,568	1,013,800
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,318	8,320

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,549,289	6,675,272
受取手形	1,847,391	1,045,723
電子記録債権	7,171,453	8,868,840
売掛金	18,788,522	20,940,999
商品	6,769,318	7,711,145
前払費用	52,946	59,055
未収入金	1,548,376	1,334,130
未収還付法人税等	446,211	117,558
その他	1,050,998	137,963
貸倒引当金	△32,447	△336,893
流動資産合計	41,192,062	46,553,795
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,623,741	1,538,105
構築物	3,504	3,022
車両運搬具	11,265	8,956
器具及び備品	63,588	46,671
土地	430,719	398,715
有形固定資産合計	2,132,819	1,995,470
無形固定資産		
電話加入権	355	355
ソフトウェア	793,127	587,715
ソフトウェア仮勘定	—	418
商標権	289	219
無形固定資産合計	793,772	588,708
投資その他の資産		
投資有価証券	3,995,910	4,675,773
関係会社株式	7,417,925	7,636,025
関係会社出資金	11,420	0
長期貸付金	2,172,364	2,329,470
前払年金費用	2,040,670	1,910,792
その他	920,675	1,380,437
貸倒引当金	△1,084,595	△1,675,319
投資その他の資産合計	15,474,369	16,257,181
固定資産合計	18,400,961	18,841,360
資産合計	59,593,023	65,395,156

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	134,212	67,030
電子記録債務	1,903,659	1,864,343
買掛金	9,311,615	9,891,943
短期借入金	9,055,394	9,225,137
1年内返済予定の長期借入金	300,000	3,200,000
未払金	3,666,398	4,005,323
未払費用	75,030	72,066
未払法人税等	—	483,652
賞与引当金	332,000	313,000
役員賞与引当金	20,000	53,087
返金負債	35,062	34,800
預り金	42,093	56,666
その他	296,716	616,632
流動負債合計	25,172,184	29,883,683
固定負債		
長期借入金	4,600,000	6,400,000
繰延税金負債	271,045	—
退職給付引当金	908,578	924,645
その他	880,938	911,669
固定負債合計	6,660,562	8,236,314
負債合計	31,832,746	38,119,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	16,599	—
資本剰余金合計	16,599	—
利益剰余金		
利益準備金	272,000	272,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	520,000	520,000
建物圧縮積立金	60,925	56,696
土地圧縮積立金	16,063	—
別途積立金	19,400,000	19,400,000
繰越利益剰余金	5,615,679	5,175,780
利益剰余金合計	25,884,668	25,424,477
自己株式	△727,993	△719,972
株主資本合計	26,261,274	25,792,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,284,651	1,755,348
繰延ヘッジ損益	214,351	△272,695
評価・換算差額等合計	1,499,002	1,482,653
純資産合計	27,760,277	27,275,158
負債純資産合計	59,593,023	65,395,156

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	62,303,320	67,487,249
売上原価	51,489,523	55,668,203
売上総利益	10,813,797	11,819,045
販売費及び一般管理費	10,692,472	11,562,281
営業利益	121,325	256,764
営業外収益		
受取利息及び配当金	405,040	338,203
受取補償金	215,586	—
その他	34,701	41,221
営業外収益合計	655,328	379,425
営業外費用		
支払利息	51,035	52,244
貸倒引当金繰入額	156,153	40,663
その他	74,247	12,983
営業外費用合計	281,436	105,891
経常利益	495,217	530,297
特別利益		
固定資産売却益	—	22,702
投資有価証券売却益	324,838	—
貸倒引当金戻入額	—	236,555
特別利益合計	324,838	259,257
特別損失		
投資有価証券評価損	256,923	—
関係会社株式評価損	149,949	747,139
貸倒引当金繰入額	423,537	—
特別損失合計	830,411	747,139
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△10,356	42,415
法人税、住民税及び事業税	6,469	474,022
法人税等調整額	217,343	△314,848
法人税等合計	223,812	159,173
当期純利益又は当期純損失(△)	△234,169	△116,758

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				
		その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金				
					配当準備積立金	建物圧縮積立金	土地圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	1,088,000	892,922	892,922	272,000	520,000	63,969	16,063	19,400,000	6,548,316
会計方針の変更による累積的影響額			—						△56,296
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,088,000	892,922	892,922	272,000	520,000	63,969	16,063	19,400,000	6,492,019
当期変動額									
剰余金の配当			—						△398,492
建物圧縮積立金の取崩			—			△3,043			3,043
土地圧縮積立金の取崩			—						—
当期純損失(△)			—						△234,169
自己株式の処分		16,599	16,599						
自己株式の消却		△892,922	△892,922						△246,721
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			—						
当期変動額合計	—	△876,322	△876,322	—	—	△3,043	—	—	△876,339
当期末残高	1,088,000	16,599	16,599	272,000	520,000	60,925	16,063	19,400,000	5,615,679

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計						
当期首残高	26,820,349	△1,887,797	26,913,473	1,665,423	212,218	1,877,642	28,791,116
会計方針の変更による累積的影響額	△56,296		△56,296			—	△56,296
会計方針の変更を反映した当期首残高	26,764,052	△1,887,797	26,857,176	1,665,423	212,218	1,877,642	28,734,819
当期変動額							
剰余金の配当	△398,492		△398,492			—	△398,492
建物圧縮積立金の取崩	—		—			—	—
土地圧縮積立金の取崩	—		—			—	—
当期純損失(△)	△234,169		△234,169			—	△234,169
自己株式の処分	—	20,160	36,759			—	36,759
自己株式の消却	△246,721	1,139,644	—			—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—		—	△380,772	2,132	△378,639	△378,639
当期変動額合計	△879,383	1,159,804	△595,902	△380,772	2,132	△378,639	△974,541
当期末残高	25,884,668	△727,993	26,261,274	1,284,651	214,351	1,499,002	27,760,277



当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				
				配当準備積立金	建物圧縮積立金	土地圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,088,000	16,599	16,599	272,000	520,000	60,925	16,063	19,400,000	5,615,679
当期変動額									
剰余金の配当			—						△333,045
建物圧縮積立金の取崩			—			△4,228			4,228
土地圧縮積立金の取崩			—				△16,063		16,063
当期純損失(△)			—						△116,758
自己株式の取得			—						
自己株式の処分		12,873	12,873						
自己株式の消却		△29,473	△29,473						△21,656
その他			—						11,268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			—						—
当期変動額合計	—	△16,599	△16,599	—	—	△4,228	△16,063	—	△439,899
当期末残高	1,088,000	—	—	272,000	520,000	56,696	—	19,400,000	5,175,780

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金 利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	25,884,668	△727,993	26,261,274	1,284,651	214,351	1,499,002	27,760,277
当期変動額							
剰余金の配当	△333,045		△333,045				△333,045
建物圧縮積立金の取崩	—		—				—
土地圧縮積立金の取崩	—		—				—
当期純損失(△)	△116,758		△116,758				△116,758
自己株式の取得	—	△67,267	△67,267				△67,267
自己株式の処分	—	24,159	37,033				37,033
自己株式の消却	△21,656	51,129	—				—
その他	11,268		11,268				11,268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—		—	470,697	△487,046	△16,349	△16,349
当期変動額合計	△460,191	8,021	△468,770	470,697	△487,046	△16,349	△485,119
当期末残高	25,424,477	△719,972	25,792,504	1,755,348	△272,695	1,482,653	27,275,158

5. その他

(1) 役員の変動

詳細は、2023年5月12日に公表しました「役員の変動に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) その他

該当事項はありません。